

Coffee Market Report

September 2023



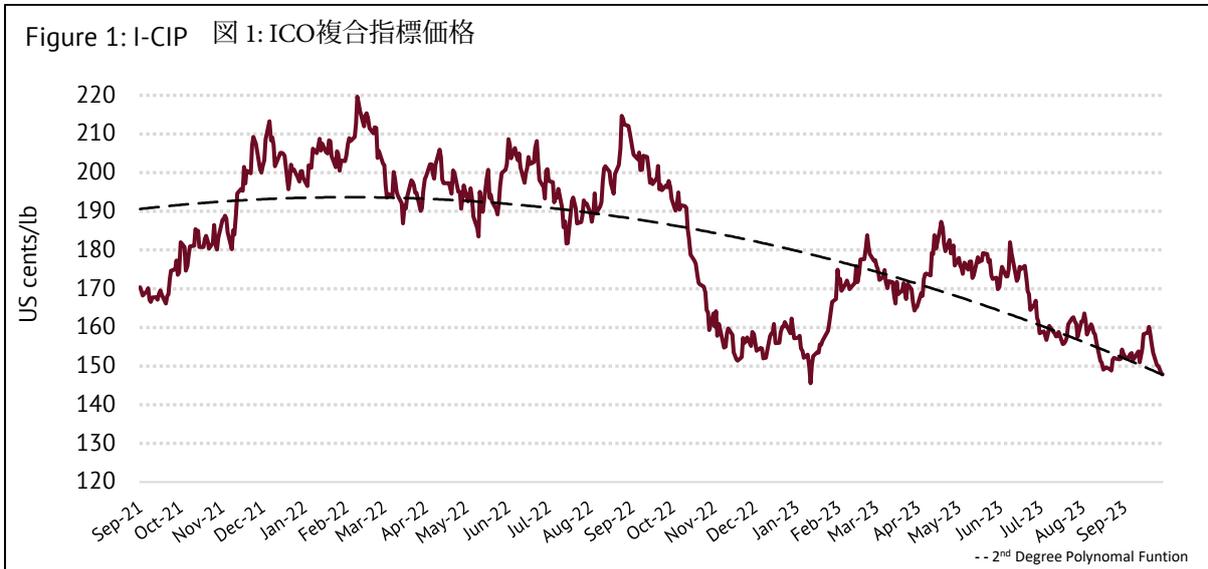
INTERNATIONAL
COFFEE
ORGANIZATION

ロブスタ価格は依然120セント超を維持している

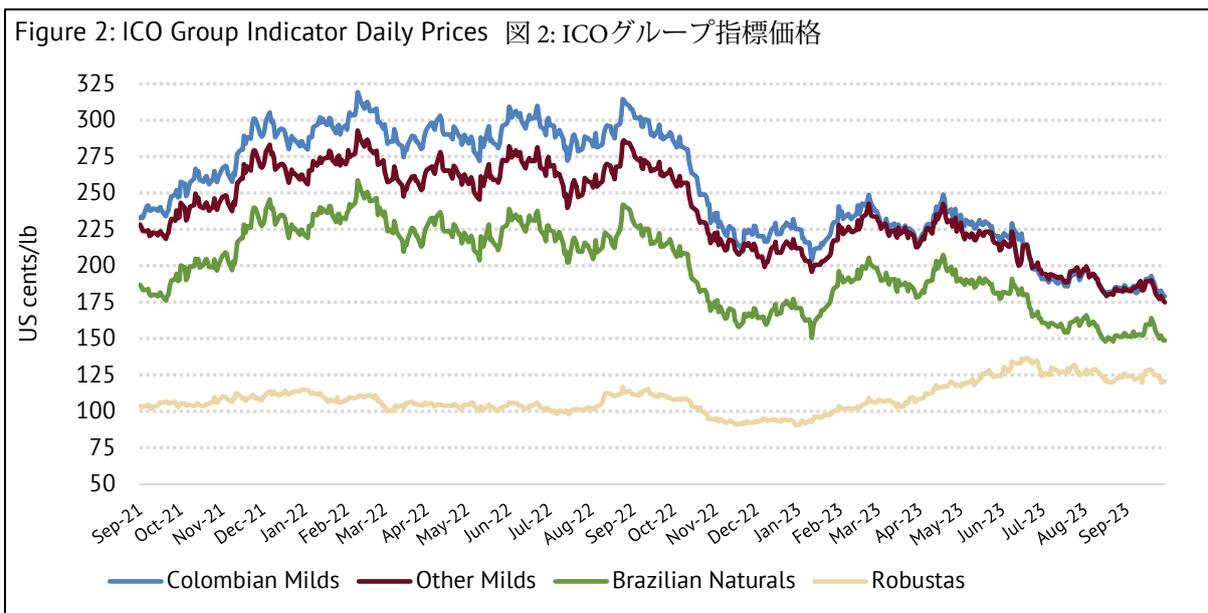
- ICO総合指標価格（I-CIP）の9月の月次平均は153.13セント（USセント/ポンド、以下同様）、中央値は152.74セント、価格レンジは147.86～160.17セントだった。
- ロブスタは9月も記録的な高値を維持し、1ポンド当たり120セントを超える水準をキープした。
- コロンビアマイルドとアザーマイルドの価格差は79.1%拡大し1.46セントとなった。
- 9月中、コロンビアマイルドとアザーマイルドの価格差はプラスとマイナスの間で変動した。
- ロンドン先物市場とニューヨーク先物市場の間で測定された9月のアービトラージは、1.8%縮小し44.41セントだった。
- I-CIPのボラティリティは一貫して下降傾向をたどり、8月から9月にかけて0.7パーセントポイント低下して6.3%だった。
- ニューヨークとロンドンの認証在庫は相反する動きとなり、ロンドンロブスタは25.7%増の73万袋だったが、ニューヨークアラビカは13.8%減の49万袋だった。
- 8月の世界の生豆輸出量は合計936万袋で、前年同時期の907万袋から3.2%増加した。
- アザーマイルドの8月の輸出量は前年同時期の220万袋から9.7%減少し199万袋となった。
- ブラジルナチュラルの生豆輸出量は10.2%増の306万袋だった。
- コロンビアマイルドの輸出量は、2022年8月の86万袋から2023年8月は84万袋へ2.1%減少した。
- ロブスタの生豆輸出量は、2022年8月の322万袋から2023年8月は347万袋へ7.3%増加した。
- 南米地域の8月の輸出量は13.0%増の498万袋だった。
- アフリカ地域の輸出量は2022年8月の123万袋から2023年8月は137万袋へ10.9%増加した。
- メキシコ・中米地域の輸出量は2022年8月の126万袋から2023年8月は2.0%減の123万袋だった。
- アジア・オセアニア地域の8月の輸出量は14.9%減の272万袋だったが、2022/23コーヒー年度の経過11か月では1.3%増の4,128万袋だった。
- ソリュブルコーヒーの輸出量は2022年8月の930万袋から2023年8月は4.6%減の89万袋だった。
- 今年度、コーヒーの総輸出量に占めるソリュブルコーヒーのシェアは8月時点で8.6%で前年同時期の9.2%から減少した。
- 焙煎豆の輸出量は2022年8月の96,937袋から2023年8月は39.9%減の58,226袋だった。
- 2021/22コーヒー年度の世界のコーヒー生産量は前年度比1.4%減の1億6,850万袋だった。しかしながら、2022/23年には1.7%増の1億7,130万袋に回復すると予想されている。世界のコーヒー消費量は2021/22コーヒー年度は4.2%増の1億7,560万袋となった。2022/23コーヒー年度は1.7%増の1億7,850万袋と予想されている。
- その結果、現在の状況では、世界のコーヒー市場は2年連続の供給不足と予想され、2022/23コーヒー年度は730万袋の不足が見込まれる。

グリーンコーヒー価格

ICO総合指標価格（I-CIP）の9月の月次平均は153.13セント、中央値は152.74セント、価格レンジは147.86～160.17セントだった。



ロブスタは9月も記録的な高値を維持し、1ポンド当たり120セントを超える水準をキープした。コロンビアマイルドとアザーマイルドはそれぞれ1.4%と1.7%下落して184.98セントと183.52セント、ブラジルナチュラルとロブスタもそれぞれ0.3%と0.6%下落して154.19セントと123.89セントだった。ニューヨーク先物市場は1.9%下落、ロンドン先物市場も2.0%下落し、それぞれ153.55セントと109.14セントだった。



コロンビアマイルドとアザーマイルドの9月の価格差は79.1%拡大し1.46セントだった。また、コロンビアマイルドとブラジルナチュラルの価格差は6.4%縮小し30.79セント、

コロンビアマイルドとロブスタの価格差も2.9%縮小し61.09セントだった。一方、アザーマイルドとブラジルナチュラルの価格差、アザーマイルドとロブスタの価格差はともに8.6%と4.0%縮小し、それぞれ29.33セント59.63セントだった。ただし、ブラジルナチュラルとロブスタの価格差は0.9%拡大して30.30セントだった。

9月月中におけるコロンビアマイルドとアザーマイルドの価格差はプラスとマイナスの間で変動した。

図3: ニューヨークとロンドン先物市場のアービトラージ

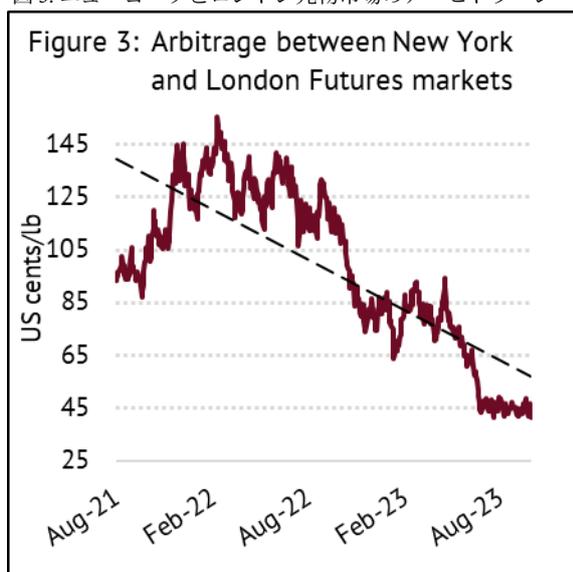
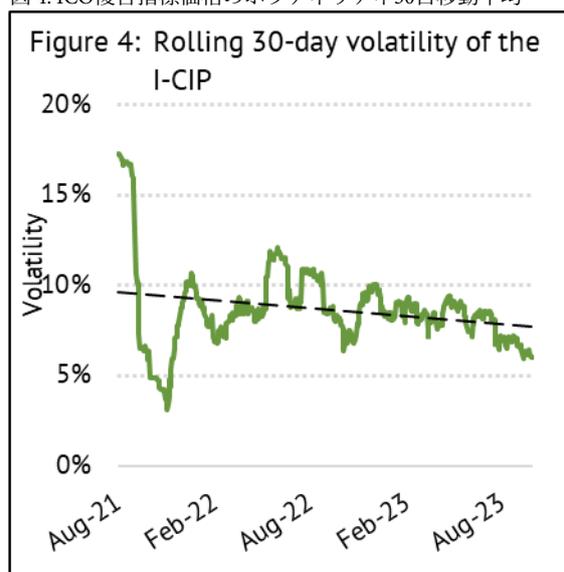
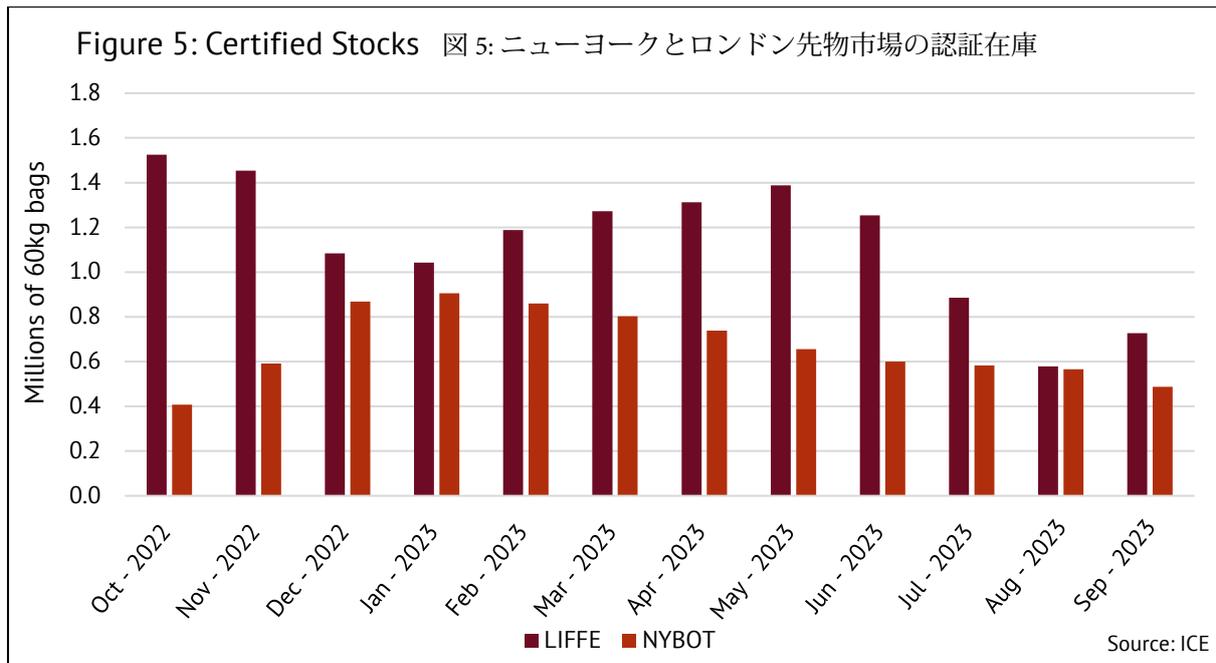


図4: ICO複合指標価格のボラティリティ30日移動平均



ロンドン先物市場とニューヨーク先物市場の間で測定された9月のアービトラージは、1.8%縮小し44.41セントだった。これは44.07セントを記録した2019年10月以来の最低水準だった。

ICO複合指標価格のボラティリティは一貫して下降傾向をたどり、8月から9月にかけて0.7パーセントポイント低下して6.3%だった。ロブスタのボラティリティは1.3パーセントポイント低下し7.4%となり最も大きく低下した。コロンビアマイルドとアザーマイルドのボラティリティもそれぞれ6.5%と6.8%まで低下した。また、ブラジルナチュラルのボラティリティは0.7パーセントポイント低下して8.1%、ロンドン先物市場のボラティリティも2.1パーセントポイント低下して7.3%だった。ニューヨーク先物市場のボラティリティはロンドンと同方向に動き、0.9パーセントポイント低下して7.7%だった。



ニューヨークとロンドンの認証在庫は相反する動きとなり、ロンドン・ロブスタは25.7%増の73万袋だったが、ニューヨーク・アラビカは13.8%減の49万袋だった。

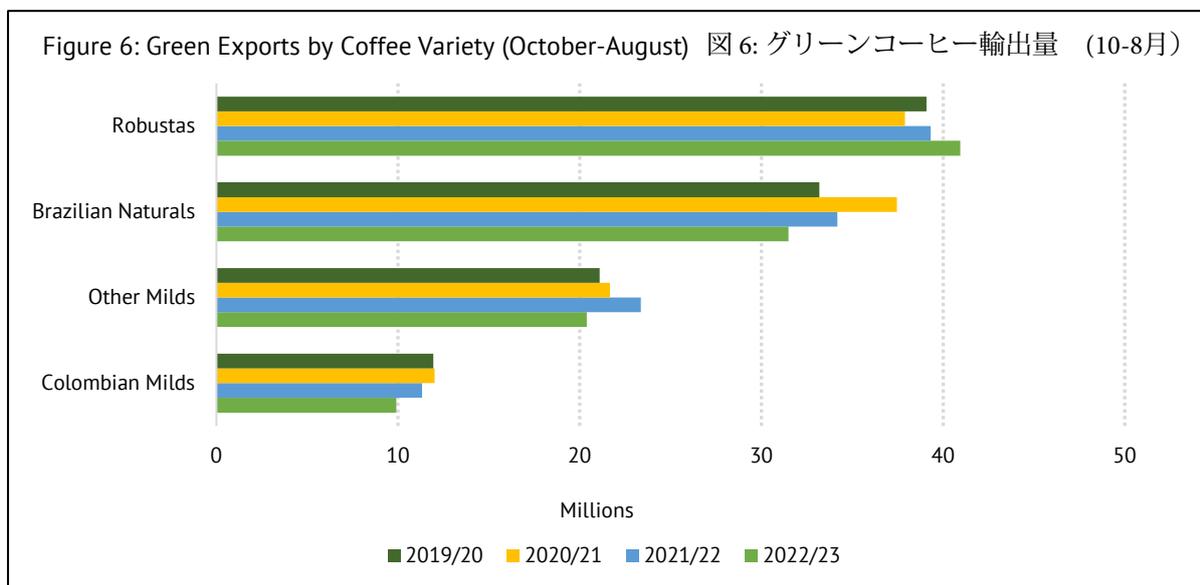
輸出量の減少が示すように（後述「コーヒーグループ別の輸出-生豆」の項を参照）、コーヒー市場への参加者の不在が続き、9月のICO複合指標価格（I-CIP）は全体的に頭打ち軌道を示していることが見て取れる。9月のコーヒー価格の動きには、為替変動、市場心理、供給減少、天候不順など、ファンダメンタルズのすべて影響したことでI-CIPは上昇し、その後、為替変動によって再び下落した。

8月22日から9月19日までICO複合指標価格（I-CIP）は持ち直し、最低値の148.79セントから160.17セントまで7.6%上昇した。これは、ブラジルでの大雨発生の報道と、ニューヨークのコーヒー先物市場の倉庫に保管されているアラビカ認証在庫の継続的な減少が背景にある。ブラジルの気象会社Somar Meteorologiaは9月5日、同国最大のコーヒー生産地域であるブラジルのミナスジェライス州で直近1週間に過去の平均降雨量の308%に相当する22.8ミリの雨が降ったと報告したため、これによりブラジルのコーヒー収穫の完了が遅れるとの予測につながったものである。一方、ニューヨークのアラビカ認証在庫は9月に最低の49万袋まで減少した。これがプラス要因としてアラビカの価格全般に影響し、特にブラジルナチュラル価格の上昇に大きく影響した。

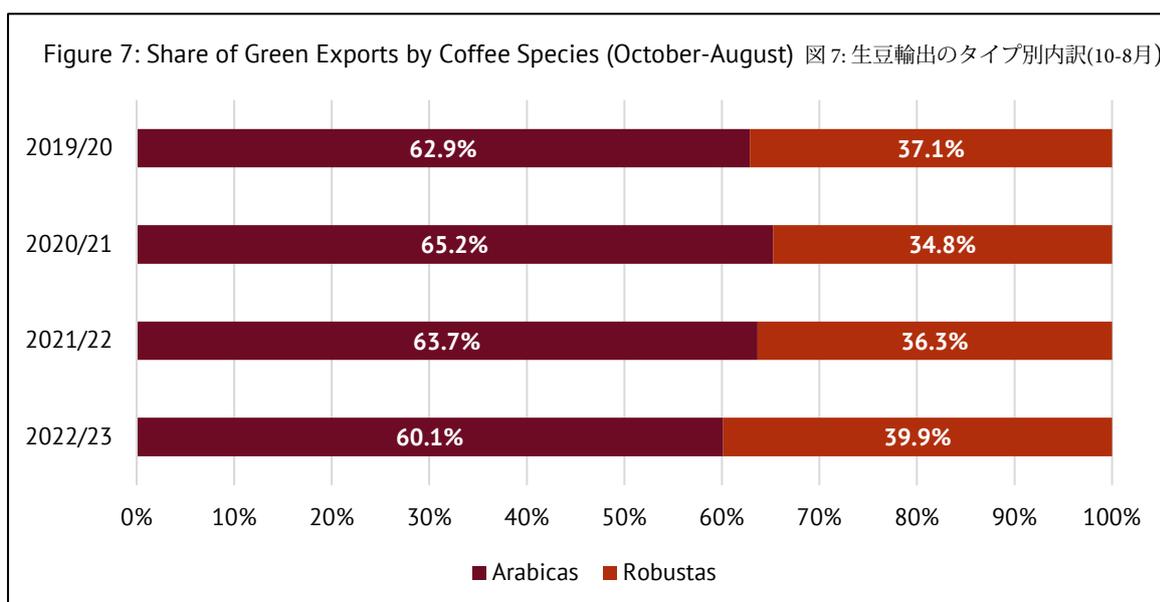
にもかかわらず、この価格上昇は米ドルに対するブラジルレアルの急激な下落によって停止し反転した。9月19日から29日にかけて、レアルは4.87から5.03へ3.2%下落し、同期間にICO複合指標価格は7.1%下落した。繰り返しとなるが、マイナスの影響は、ロブスタ（-5.9%）と比較して、アラビカ（-8.1%）、特にブラジルナチュラル（-9.3%）でより大きく現れた。現在、ベトナムの供給量の減少により、ロブスタの価格下落は比較的緩やかであり（後述「地域別のコーヒー輸出量-全形態」の項を参照）、2023/24年度クロップからの供給開始は早くても11月、少なくともまだ2か月先である。

コーヒーグループ別の輸出量 - 生豆

2023年8月の世界の生豆輸出量は合計936万袋で、前年同月の907万袋から3.2%増加した。一方、2022/23コーヒー年度の8月までの累計は1億290万で、前年度同時期の1億826万袋と比べて5.0%の減少である。



アザーマイルドの8月の輸出量は前年同時期の220万袋から9.7%減少して199万袋となり、また、累積輸出量は減少を続けて2022/23コーヒー年度の経過11か月では前年度同時期の2,342万袋に対して12.2%減の2,056万袋だった。



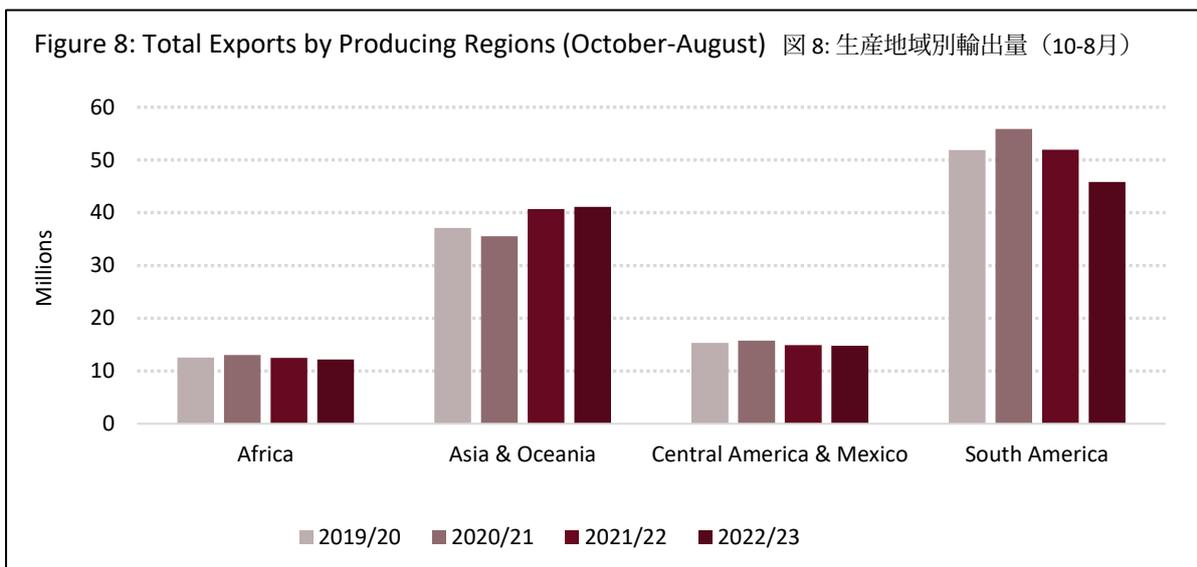
ブラジルナチュラルの8月の生豆輸出量は10.2%増の306万袋、2022/23コーヒー年度の経過11か月累計は3,150万袋で前年度同時期の3,422万袋から8.0%減少した。ブラジルナチュラルの輸出動向は、ブラジルナチュラルの最大の生産国かつ輸出国であるブラジルの生豆輸出量の動向に依拠しており、8月の輸出量は前年同月の263万袋から27.6%増加して335万袋だった。

コロンビアマイルドの8月輸出量は84万袋で前年8月の86万袋から2.1%減少した。これはコロンビアマイルドの主産地であるコロンビアに因るもので、コロンビアの8月生豆輸出量は5.6%減少している。コロンビアマイルドの輸出量減少はこれで14か月連続となり、その結果、2022年10月から2023年8月までの累計輸出量は、前コーヒー年度同時期の累計輸出量1132万袋に対して12.5%減の990万袋だった。

ロブスタの8月の生豆輸出量は347万袋で前年同時期の322万袋に対して7.3%増加した。ロブスタの輸出量増加は5か月連続であり、その結果、2022年10月から2023年8月までの11か月累計輸出量は4,094万袋で、前年度同時期の3,931万袋に対して4.2%増加した。

地域別のコーヒー輸出量 - 全形態

南米地域の8月の輸出量は13.0%増の498万袋だった。増加はこの地域にとって2022年6月の0.3%増加以来である。要因はブラジルで8月の輸出量367万袋は前年同時期の295万袋から24.4%増加した。具体的には、地域の輸出量増加を牽引したのはブラジルのロブスタで、2022年8月の14万袋から388.1%増加して70万袋だった。この輸出量は、2014年12月に輸出された69万6,873袋を上回りブラジルのロブスタ輸出史上で最大だった。



需給のファンダメンタルズとして、南米地域の輸出好転の背景には、アジア・オセアニア地域、特に世界最大のロブスタの生産国かつ輸出国であるベトナムの最近の輸出低迷がある。指摘されているのは、ブラジルは南米地域最大のロブスタ生産国かつ輸出国であり、ベトナムロブスタの生産量減少が有利に作用しているということだ。

ブラジルは2021/22コーヒー年度にロブスタ187万袋を輸出し、世界で5番目に大きなロブスタ輸出国だったが、これに対してベトナムの輸出量は2,544万袋、さらにウガンダ、インド、インドネシアは、それぞれ第2位、第3位、第4位のロブスタ輸出国として489万、428万袋、403万袋を輸出していたことに注目すべきだろう。しかしながら、2023年8月（単月）におけるブラジルのロブスタ輸出量は134万袋を記録しベトナムに次ぐ世界2位となっている。これは、ブラジルが1か月で過年度の4か月半に相当するロブスタを輸出したことを意味している（2021/22コーヒー年度のロブスタ総輸出量に基づく）。

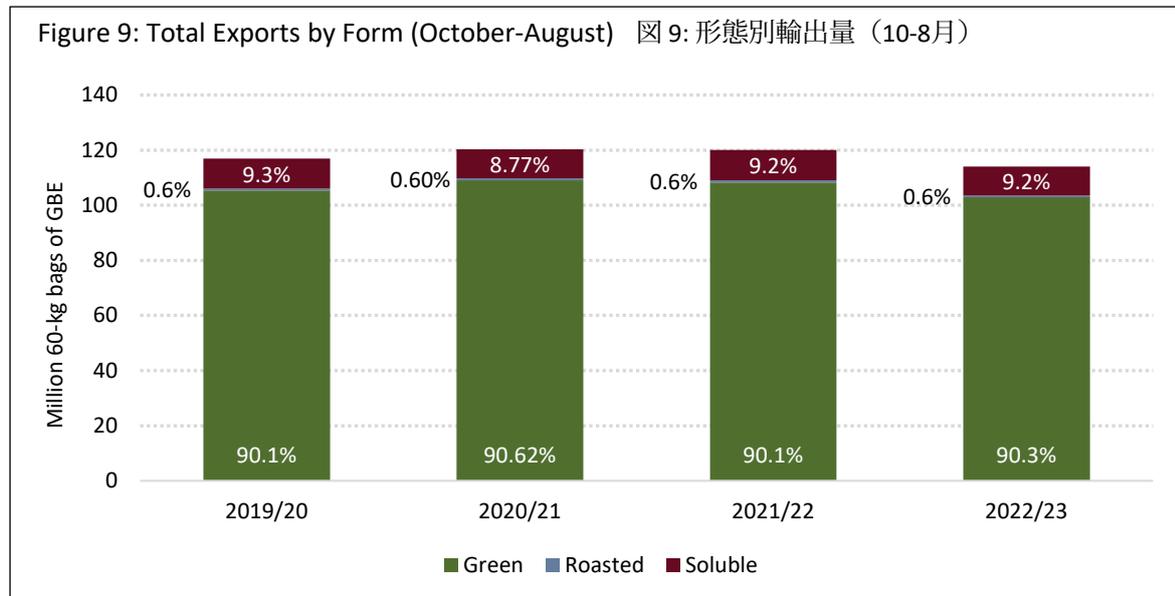
アフリカ地域の8月の輸出量は137万で前年同時期の123万袋から10.9%増加した。本コーヒー年度の経過11か月間では1,084万袋で前年度同時期の1,231万袋に対して1.5%減だった。地域の輸出量はこの3か月連続で増加している。ロブスタ生豆の好調な輸出量増加に反映されているように、ロブスタに対する世界的な需要の継続が8月のアフリカ地域の輸出量増加の根本的な要因となっている。しかし、南米地域の状況と同様に、アジア・オセアニア地域、特にベトナムの輸出量減少が背景にある。アフリカ地域最大のロブスタ生産国かつ輸出国であるウガンダは、ベトナムから生じた市場の需給ギャップを埋める機会を捉えて、その輸出量を2022年8月の50万袋から2023年8月には48.4%増の74万袋に増やした。これは、ウガンダにとって1973年3月の輸出量79万袋に次ぐ2番目に多い月間輸出量である。

メキシコ・中米地域の8月の輸出量は123万袋で前年8月の126万袋に対して2.0%減少した。その結果、2022年10月から2023年8月までの累計輸出量は1,457万袋で、前年度同時期の1,496万袋に対して2.6%の減少となった。この地域の輸出量の減少率は比較的小さいが、各生産国のレベルではダイナミックな増減が発生している。2つの生産国（ホンジュラスとニカラグア）では8月の輸出量が合計37.2%の大幅な増加を記録したが、他の3か国（コスタリカ、グアテマラ、メキシコ）では急激な減少を生じて合計20.5%のマイナスを記録した。ホンジュラスとニカラグアの8月輸出量の増加は、属する生産地域および属するコーヒーグループ（アザーマイルド）の両方を圧倒的に凌駕しているが、これは、メキシコ・中米地域の他の生産国に対する価格競争力を反映していると言えよう。ホンジュラスとニカラグアのアラビカ生豆の平均輸出単価157セント（2017/18～2021/22コーヒー年度平均）に対して、その他の生産国（キューバ、ハイチ、ジャマイカを除く）は220セントで63セント割高だった。

アジア・オセアニア地域の8月の輸出量は272万袋で14.9%減少したが、2022/23コーヒー年度の経過11か月累計は1.3%増の4,128万袋である。8月の減少は主にベトナムによるもので、その輸出量は198万袋から23.6%減の144万袋となった。これは8月の輸出量としては2012年の140万袋以来の最低である。減少の要因は輸出向け供給量の枯渇と考えられ、今コーヒー年度の経過10か月（2022年10月から2023年7月まで）の好調な輸出の反動が反映されている。この10か月にベトナムは2,598万袋を輸出したが、これは通年で2,973万袋と言う記録的輸出量を達成した2017/18コーヒー年度の同時期の輸出量を3.3%超過している。

形態別のコーヒーの輸出量

ソリュブルコーヒーの総輸出量は、2022年8月の930万袋から2023年8月は4.6%減少して89万袋だった。2022/23コーヒー年度の経過11か月間累計は1,046万袋で前年度同時期の1,109万袋に対して5.7%減少した。



コーヒーの総輸出量（全形態）に占めるソリュブルコーヒーのシェアは、2023年8月時点では8.6%で前年同時期の9.2%から低下した。ブラジルはソリュブルコーヒー最大の輸出国であり、2023年8月の輸出量は32万袋だった。

焙煎豆の輸出量は、2022年8月の9万6,937袋から2023年8月には5万8,226袋と39.9%減少した。2022/23コーヒー年度の8月までの累計は66万袋で同年度同時期は77万袋だった。

生産量と消費量

現状、2021/22年度および2022/23年度のコーヒー生産量と消費量の推定値および見通しに変更は無い。

2021/22コーヒー年度の世界コーヒー生産量は前年度比1.4%減の1億6,850万袋だった。裏年の隔年結果および多くの主要生産国での悪天候が減少要因となった。しかし、2022/23年度には1.7%増の1億7,130万袋に回復すると予想されている。世界的な肥料コストの上昇と悪天候により、ブラジルの表年の隔年結果の生産量増加が部分的に相殺されることが想定され、このために2022/23年度における生産量増加率は比較的低いものとなっている。アラビカの2022/23コーヒー年度生産量は前年度の7.2%減少に対して4.6%増加して9,860万袋と予想され、表年の隔年結果の好影響が見込まれる。生産量の循環的な変動を反映して、コーヒー総生産量に占めるアラビカのシェアは、2021/22年度の55.9%から2022/23年度は57.5%に増加すると予想される。南米地域の生産量は2021/22コーヒー年度に7.6%減少を記録し、ほぼ20年ぶりの大幅な生産量減少となったが、現在そして今後も世界最大のコーヒー生産地域であり続けるだろう。2022/23コーヒー年度は隔年結果の影響もあり回復が見込まれ、地域の生産量は6.2%増の8,240万袋に達すると予想されている。

2021/22年コーヒー年度の世界のコーヒー消費量は、2020/21年度の0.6%増に続き、4.2%増の1億7,560万袋だった。新型コロナウイルスの流行時期に蓄積した需要の顕在化と、2021年の6.0%という急激な世界経済の成長によって、2021/22年度におけるコーヒー消費量の急激な回復を示した。2022年および2023年の世界経済の減速は、生活費の劇的な上昇と相まって2022/23年度のコーヒー消費量に影響を与えるだろう。消費量は増加が見込まれるものの、その増加率は1.7%に減速して消費量は1億7,850万袋と予想される。世界的なコーヒー消費の減速は非生産国に起因していると想定され、ヨーロッパ地域のコーヒー消費量の減速が最も著しい。同地域の消費量は2021/22コーヒー年度の6.0%増から2022/23コーヒー年度は0.1%増に低下すると予測されている。

その結果、世界のコーヒー市場の需給関係は2年連続の供給不足と予想され2022/23年度は730万袋の不足が見込まれている。

(後略)

表 1: ICO 指標価格と先物価格 (US cents/lb)

	ICO Composite	Colombian Milds	Other Milds	Brazilian Naturals	Robustas	New York*	London*
Monthly averages							
Aug-22	200.11	295.66	268.43	221.91	109.65	218.53	98.75
Sep-22	199.63	294.09	267.49	219.59	111.36	218.24	100.49
Oct-22	178.54	261.95	240.08	192.27	103.01	191.72	92.16
Nov-22	156.66	223.22	213.85	166.54	92.59	164.80	82.67
Dec-22	157.19	224.12	210.24	169.00	93.76	166.21	83.95
Jan-23	156.95	218.91	206.76	170.03	95.98	159.80	85.82
Feb-23	174.77	238.39	229.73	195.18	103.93	180.93	94.26
Mar-23	170.03	225.23	222.36	187.02	106.49	176.17	96.60
Apr-23	178.57	234.85	229.56	195.26	115.70	187.30	105.43
May-23	175.48	226.93	220.12	186.80	122.55	183.13	112.56
Jun-23	171.25	211.85	207.39	176.48	132.13	174.54	119.23
Jul-23	158.88	190.58	193.49	159.50	127.58	159.57	113.62
Aug-23	154.53	187.55	186.73	154.66	124.62	156.56	111.34
Sep-23	153.13	184.98	183.52	154.19	123.89	153.55	109.14
% change between Aug-23 and Sep-23							
	-0.9%	-1.4%	-1.7%	-0.3%	-0.6%	-1.9%	-2.0%
Volatility (%)							
Aug-23	7.0%	7.5%	7.3%	8.8%	8.7%	8.6%	9.4%
Sep-23	6.3%	6.5%	6.8%	8.1%	7.4%	7.7%	7.3%
Variation between Aug-23 and Sep-23							
	-0.7	-1.0	-0.5	-0.7	-1.3	-0.9	-2.1

* Average prices for 2nd and 3rd positions

表 2: 価格差 (US cents/lb)

	Colombian Milds Other Milds	Colombian Milds Brazilian Naturals	Colombian Milds Robustas	Other Milds Brazilian Naturals	Other Milds Robustas	Brazilian Naturals Robustas	New York* London*
Sep-22	26.60	74.50	182.74	47.90	156.13	108.23	117.74
Oct-22	21.87	69.68	158.94	47.82	137.07	89.25	99.56
Nov-22	9.37	56.68	130.63	47.31	121.26	73.95	82.13
Dec-22	13.88	55.12	130.36	41.24	116.48	75.24	82.26
Jan-23	12.15	48.88	122.93	36.73	110.78	74.05	73.97
Feb-23	8.66	43.21	134.46	34.55	125.80	91.25	86.67
Mar-23	2.87	38.21	118.74	35.34	115.87	80.53	79.57
Apr-23	5.30	39.60	119.15	34.30	113.86	79.56	81.88
May-23	6.81	40.13	104.38	33.32	97.57	64.25	70.57
Jun-23	4.46	35.36	79.72	30.90	75.26	44.36	55.31
Jul-23	-2.91	31.09	63.00	34.00	65.91	31.92	45.95
Aug-23	0.82	32.89	62.93	32.07	62.11	30.04	45.23
Sep-23	1.46	30.79	61.09	29.33	59.63	30.30	44.41
% change between Aug-23 and Sep-23							
	79.1%	-6.4%	-2.9%	-8.6%	-4.0%	0.9%	-1.8%

* Average prices for 2nd and 3rd positions

表 3: 世界のコーヒー需給バランス

Coffee year commencing	2017	2018	2019	2020	2021	2022*	% change 2022/21
PRODUCTION	167,568	169,884	168,387	170,868	168,485	171,268	1.7%
Arabica	97,862	99,615	96,670	101,577	94,248	98,559	4.6%
Robusta	69,707	70,269	71,717	69,290	74,237	72,709	-2.1%
Africa	17,428	18,523	18,698	19,281	19,132	19,405	1.4%
Asia & Oceania	52,214	48,069	49,307	47,912	52,102	49,713	-4.6%
Mexico & Central America	21,475	21,361	19,321	19,747	19,655	19,726	0.4%
South America	76,453	81,934	81,064	83,937	77,596	82,424	6.2%
CONSUMPTION	165,637	170,876	167,593	168,569	175,605	178,534	1.7%
Exporting countries	51,575	52,234	51,441	52,518	53,615	55,369	3.3%
Importing countries (Coffee Years)	114,062	118,642	116,152	116,051	121,991	123,165	1.0%
Africa	11,707	11,921	12,034	12,552	12,877	13,403	4.1%
Asia & Oceania	38,819	39,572	39,198	41,289	42,828	44,162	3.1%
Mexico & Central America	5,667	5,805	5,857	5,882	5,967	6,124	2.6%
Europe	53,523	55,449	53,953	52,237	55,359	55,388	0.1%
North America	29,939	31,789	30,581	30,228	31,679	32,078	1.3%
South America	25,981	26,340	25,969	26,381	26,895	27,379	1.8%
BALANCE	1,932	-992	794	2,298	-7,120	-7,266	

*preliminary estimates

表 4: 輸出国の総輸出量

	Aug-22	Aug-23	% change	Year to Date Coffee Year		
				2021/22	2022/23	% change
TOTAL	10,094	10,302	2.1%	120,122	114,009	-5.1%
Arabicas	6,408	6,420	0.2%	75,109	67,985	-9.5%
<i>Colombian Milds</i>	958	926	-3.3%	12,392	10,880	-12.2%
<i>Other Milds</i>	2,479	2,204	-11.1%	25,883	23,124	-10.7%
<i>Brazilian Naturals</i>	2,972	3,290	10.7%	36,833	33,980	-7.7%
Robustas	3,686	3,882	5.3%	45,013	46,024	2.2%

In thousand 60-kg bags

表 5: ニューヨークとロンドン先物市場の認証在庫

	Oct-22	Nov-22	Dec-22	Jan-23	Feb-23	Mar-23	Apr-23	May-23	Jun-23	Jul-23	Aug-23	Sep-23
New York	0.41	0.59	0.87	0.91	0.86	0.80	0.74	0.66	0.60	0.58	0.57	0.49
London	1.52	1.45	1.08	1.04	1.19	1.27	1.31	1.39	1.25	0.89	0.58	0.73

In million 60-kg bags